

地球規模生物多様性モニタリング推進事業（一部新規・拡充）
372百万円（290百万円）

自然環境局生物多様性センター

1. 事業の概要

全国約1,000カ所のモニタリングサイトを中心とした総合的・継続的な生態系モニタリング事業の強化を行う。

新たに、アジア太平洋地域の各国政府、国際機関との連携により地球規模での生物多様性モニタリング体制の構築を進める。

平成20年度に開始したアジア太平洋地域生物インベントリー・イニシアティブの拡充を行う。

2. 事業計画(平成21年度～平成23年度)

平成21年度 (2009) 高山帯等での定点自動撮影による温暖化影響観測開始
地球規模の生物多様性に関する調査データの集約・総合的解析・予測手法の検討、各国政府及び国際的枠組みとの連携方策検討
生物インベントリー構築のための国際会合開催、生物分類キャパシティ・ビルディングの行動計画案作成及びパイロット研修プログラムの実施

平成22年度 (2010) 前年度事業の継続実施
前年度事業の継続実施の他、アジア地域での研修プログラムの実施、COP10へのインプット
COP10におけるアジア太平洋地域生物インベントリー・イニシアティブの正式発足と参加国増加促進、生物分類キャパシティ・ビルディング行動計画の実施

平成23年度以降

～ 前年度事業の継続実施

3. 施策の効果

関係省庁・各調査研究機関との生物多様性情報の共有・連携

効率的かつ精度の高い生態系の総合監視・予測評価・モニタリングの実施による生物多様性保全の推進（温暖化影響の把握・保全対策を含む）
ミレニアムアセスメント（MA）、世界生物多様性概況（GB03）の実施支援

生物多様性条約GTI（世界分類学イニシアティブ）作業計画への成果提供
地球規模での生物多様性の科学的把握・モニタリング体制の構築に関する我が国のイニシアティブ発揮

2010年に開催される生物多様性条約COP10への日本からの情報発信・貢献

4. 備考

調査費 372百万

(内訳) 重要生態系監視地域モニタリングの強化 304百万円
国際連携による生物多様性モニタリング体制の構築 43百万円
アジア太平洋地域生物インベントリー・イニシアティブの推進 25百万円

地球規模生物多様性モニタリング推進事業費

重要生態系監視地域モニタリング推進事業(モニタリングサイト1000)

温暖化による各生態系への影響を、より確実に把握
データロガー及び定点撮影によるモニタリングの実施
情報・標本管理体制の整備



高山生態系の変化把握



積雪量と雪解け時期を記録

情報・標本管理体制の整備

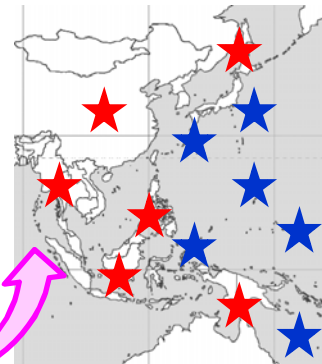


ヒメギフチョウ
チョウ目 アゲハチョウ科

ミヤマクワガタ
クワガタ目 クワガタ科

モデル手法

国際連携による地球規模生物多様性モニタリング体制の構築支援



- ★ 森林サイト
- ★ サンゴ礁サイト

気候変動等による地球規模の生態系変化の把握

各種データの収集と統合的解析
地球規模モニタリング体制構築のための枠組み構築
(国際ワークショップ開催)
統一的モニタリング手法の開発と研修の実施

アジア太平洋地域生物インベントリー・イニシアティブ推進事業

生物多様性保全施策に必要な生物情報インベントリー整備
分類学能力向上研修プログラムの開発・実施



地球規模生物多様性モニタリング・ネットワーク・イニシアティブの推進

MA及びGBO3実施支援、GEOSS、GBIF登録等へのデータ提供、GTIへの貢献